

まんとさく



機関別認証評価に合格

本学では、平成十七年度（二〇〇五年度）に文部科学大臣の認証を受けた大学評価・学位授与機構による機関別認証評価を受けました。学校教育法の改正によって、全ての大学・短期大学などは、七年に一度このような評価を受けることになったためです。

その結果、本学は「機構の定める短期大学評価基準を満たしていると判断する」との評価をいただきました。すなわち、公立短大としては、第一号として合格しました。

まず、学内に評価委員会を設けて、自己評価に取り組みました。設置の目的、教育の内容、財務など十一の評価基準があり、それぞれに評価の方法などを定めた観点があります。基準ごとに評価を実施し、百ページ近くにもなる自己評価書を作成しました。評価項目ごとに、根拠となる文書などを添えて、昨年七月二十八日の締め切りに間に合うように、東京の機構に送付しました。根拠資料を含めて、段ボール二箱で、合わせて重さ約六十キログラムにもなりました。

機構では、書面審査を行い、これを基に十二月

七日から九日の三日間にわたって十三人の機構の教職員が本学を訪れて訪問調査が実施されました。教職員との面接、在学生・卒業生との面接、施設の視察、授業の視察などが実施されました。その結果をまとめて三月三十日に「実施結果報告書」が発表されました。

本学全体の優れている点として、次の事項が挙げられました。

- 一、教養教育の充実に取り組んでいること。
- 二、学外の実習指導者を対象として、研修や称号の授与など、実習の担い手としての意識を高める取り組みがなされていること。
- 三、ボランティア活動や実習などが、地域との関わりが深く、地域の文化・伝統を学ぶなど、地域に根ざした教育がおこなわれていること。特に幼児教育学科の「地域と創るにのみこどもフェスタ」が文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」に採択されている。
- 四、電子メールや研究室における日常的な教員と学生とのコミュニケーションが円滑で、きめ細かい指導・助言が行われていること。

一方、施設全体のバリアフリー化に早期に対応する必要があることや図書館への新刊書の配備状況・施設の利用時間などを改善すべき点として指摘されました。

このたびの評価は、開学以来の諸先生・卒業生を含む人々の努力と地域のご支援によるものです。今回の評価結果をふまえて、さらなる改善に努力したいと思えます。なお、自己評価書と評価結果の詳細は、本学のホームページで公開しています。

学友会執行部より

学友会執行部会長 山田明香

こんにちは、学友会執行部です!! 私たち学友会執行部は現在、各学科二年生五名、一年生二名、計二十一名の役員で運営しています。私たちの役割は、様々な行事や活動を通して、学生生活をより充実したものにしていこうとします。主に、年間四つの行事の主催をしています。他にもサークル活動に関すること、鳴滝祭での実行委員会のサポートや、年二回の定例総会も執行部の仕事です。

四月は新入生を迎えて、「学生交流会」を行いました。備北青年の家へ出かけ、皆で協力して備北汁を作ったり、ゲームをしたりしました。一年生同士、また二年生や先生方との交流を深めることができ、帰る頃にはすっかり緊張もほぐれていました。五月の「スポーツ大会」はあいにくの天候により、体育館で行うこととなりました。一見残念なことのように思われますが、決してそうではなく、空間が限られたことによって全ての競技に盛大な声援が送られ、全学科・学年がひとつになれました。気合を入れる掛け声や勝った喜びを分かち合う大きな声が体育館に響いたり、また満面の笑みや反対に悔し涙など、様々な輝かしい表情がみられました。

今後は、十二月に「球技大会」と「クリスマス会」を予定しています。講義や実習などで忙しい毎日ですが、たまには行事に参加することで体を

動かす、声を出して笑いましょ。そしてまた日々の勉学の励みにして頂けたらと思っています。これから学友会執行部をどうぞよろしくお願ひします。



地域看護学専攻科

第三期生十七名を

迎えました!

専攻科に入学して

田中紀子

地域看護学専攻科に入学して早一ヶ月が過ぎました。新見での一人暮らしも四年目に突入し、本学の先生方や新見市の方に支えられた安心した環境の中、のびのびと保健師になるための勉強をすることができています。また、初めは十七名という少ない人数に不安はありましたが、皆同じような雰囲気なのですぐに仲良くなれ、日々充実した学校生活を送っています。これから、授業、研究、実習：などと並行して行っていかなくてはなりません。期待や不安はありますが、一年間しかないの、皆で精一杯頑張っていきたいと思えます。そして地域の温かい保健師になれるよう、皆と日々成長していきたいです。

武部真理

私は、高校の衛生看護科専攻科を卒業して本校に入学したので、年が一番下です。クラスになじめるのか、勉強についていけるのか、また、一人暮らしをすることも初めてで、学校だけでなく生活にも不安や戸惑いがありました。しかし、クラスの雰囲気がとてもよく、人を思いやることのできる人ばかりなので、そんな不安は今全くありません。先生方も我が子のように相談のつて下さり、岡山

県での母親代わりです。一年間、クラス一丸となり、保健師という目標に向かって頑張っていきたいと思えます。

金平みずえ

新見市に暮らし始めて一ヶ月以上が経ちました。新見は自然が豊かで静かな環境の中、勉学に励むことができています。私は、年間助産師として働いていました。臨床で働く中で、もっとゆつくりと母子に関わりたいという思いを持ちました。そして将来は地域で家庭訪問や育児相談に携わっていくことを目指し、本学へ入学しました。クラスのメンバーはみんな明るく、楽しい学校生活を送ることができています。この専攻科に入学した仲間たちは将来したいことが様々な考えを聞くことができるので、そういう意味でも毎日が本当に楽しいです。多くの課題や実習など、これから忙しくなりそうですが、切磋琢磨しみんな乗り越えていきたいと思えます。



地域福祉学科

「卒業生と語る会」印象記

大竹晴佳

四月十九日に行われた「進路ガイダンス・卒業生と語る会」では、三名の卒業生を招いて話をしてもらいました。先輩達の就職活動の経験や、特養、老健、グループホームと多岐に富んだ職場についてのお話に、迷いを抱えながらも進路を切り拓いていこうとしている二年生は、真剣に耳を傾けていました。印象に残ったのは、「新短で学んだことは卒業後、三年経ってから活かすことができる。だから学生の間、しっかりと学んでほしい。」という心強い呼びかけです。これから一層の発展が期待される介護の現場で、新見短大地域福祉学

科の教育がしっかりと根を下ろそうとしていることを感じました。

はじめまして



講師 藤井宏明

この春より、地域福祉学科の講師として新見公立短期大学の皆さんとご縁を持つことができました。介護技術系の科目を受け持つことになりました。この学校に来る以前から、介護福祉士を目指す学生とのかかわりがあり、また福祉施設で介護職・相談職として働いていた経験があります。その経験が皆さんの学習に役立てば幸いと思えます。皆さんも、若さゆえの失敗や挫折も多くあると思いますが、一緒に乗り越えていけるよう共に頑張っていきましょう。

第4回 出身高校紹介コーナー

＊長野県立田川高校

自然豊かで素敵な学校！

一年次生 百瀬 悠

田川高校の周りは田んぼと川に囲まれていて、とても静かで勉強する環境に恵まれています。部活動が盛んで、昨年行われた岡山国体に出場し、競歩で優勝しました。私が所属していた演劇部も関東大会に出場しました。また、長野県は山が多いので山岳アウトドア部という部活もありました。教員と生徒の仲もよく、三年前から私服化したことによって個性の尊重もしています。

＊鹿児島県立種子島高校

私の誇り、種子島高校

一年次生 柳田摩美

種子島高校は、創立八十周年を迎える歴史ある高校です。進学校ですが部活動も盛んで、昨年は野球部が甲子園予選でベスト4に入賞し、新聞委員会も県のコンクールで三年連続一席を収めました。高校の特徴は、地元の車椅子マラソン大会のボランティアに参加したり、サトウキビを栽培し黒砂糖を製糖するなど様々です！しかし、大好きなこの高校も二年後の廃校が決まりました。とても残念なことです。有終の美を飾ってください。心をより祈っています。

平成18年度

地域福祉学科入学生出身高等学校別一覧

地方名	県名	高等学校名	人数
中部地方	長野県	県立田川高等学校	1
	大阪府	府立千里高等学校	1
近畿地方	兵庫県	県立篠山鳳鳴高等学校	1
		県立西脇高等学校	1
		県立山崎高等学校	2
		県立千種高等学校	1
		県立洲本実業高等学校*	1
		県立和田山高等学校	1
	京都府	府立西舞鶴高等学校	1
和歌山県	県立古座高等学校	1	
中国地方	鳥取県	県立倉吉西高等学校	2
		県立米子西高等学校	1
	島根県	県立横田高等学校	1
		県立平田高等学校	1
		県立矢上高等学校	1
	岡山県	県立倉敷中央高等学校	1
		県立津山東高等学校	1
		県立高梁高等学校	3
		県立新見高等学校	4
		県立新見北高等学校	3
		県立勝山高等学校	3
		県立林野高等学校	3
	倉敷市立玉島高等学校	1	
	広島県	県立尾道北高等学校	1
		県立福山明王台高等学校	1
県立大和高等学校		1	
山口県		県立安下庄高等学校	1
		県立華陵高等学校	1
		県立新南陽高等学校	1
		県立山口中央高等学校	1
県立厚狭高等学校	1		
四国地方	愛媛県	県立新居浜東高等学校	1
		県立丹原高等学校	1
		県立伊予高等学校	1
	高知県	県立安芸高等学校	1
		土佐女子高等学校	1
九州地方	長崎県	県立諫早高等学校	1
	大分県	県立日田高等学校	1
		県立中津北高等学校	1
	宮崎県	県立都城西高等学校	1
	鹿児島県	県立川辺高等学校	1
		県立種子島高等学校	1

(*は、特別選抜<社会人>入試による入学者)

今年も全国各地から
多くの学生が集まりました！

幼児教育学科

「にのみ子どもフェスタ」と
「子どもフェスタ インおおさ」
に参加して

二年次生 佐藤真美

二月に「にのみ子どもフェスタ」が、四月に「子どもフェスタ インおおさ」がありました。子どもフェスタを経験したことで、私は表現力を自分の中にとどまらせず、他人に影響を与えたいと思えるようになりました。公演のときに、手遊びを子どもや保護者の方の近くでやりましたが、一緒に手遊びをしたり、問いかけに答えてくれたりと観客の方にはとても良い反応を見せていただきました。お客さんのすぐ近くで手遊びなどをやったのは初めての経験で、「なりきる」という表現は本当に難しい、と実感しています。今の私の課題は、「表情豊かに喜怒哀楽を表現する」ということです。

移動公演で行った手遊びの中にはバナナがおいしいと喜ぶゴリラ・レモンがすっぱいとすっぱそうな顔をするゴリラ・たまねぎが最後に無くなってしまい悲しそうな顔をするゴリラというように三通りの表現をする必要があります。でも、最初はどれも同じ表情や表現になってしまいました。子どもに対して、ただただ笑顔で表現するのではいけないのだと後で分かりました。今後は歌詞や言葉の意味をきちんと捉えて表情

豊かに演じていけるようになりたいと思っています。

公演を通して身につけたことは、挨拶や礼儀、そして掃除や片付けについての考え方です。本公演では先輩方の姿を見て、全ての方に気持ちの良い挨拶をすることや礼儀などを学びました。ホール使用後の掃除や片付けに取り組み際も、できることを見つけて積極的に取り組むことの大切さを学びました。そこで得たものは感謝の気持ちを相手に伝えるときに、しっかりと言葉で伝えるということです。それは先生方に対して、ホールで公演に携わってくださった方々に対して、公演をやった同じ仲間に対してです。言葉で伝えることは互いに関わりあう上で大切なことだと思えます。今後は保育者、また社会人になっていくので、感謝の気持ちをきちんと言葉に表せるようにしていきたいと考えています。



新任教員挨拶
「はじめまして」

講師 斎藤健司

この文を見て驚かれた同窓の方も多いと思います。昨年度まで看護学科の所属でしたが、

春から幼児教育学科の教員になりました。担当は「環境」や「生活」等の理科系領域です。こどもが科学に興味を持つように指導できる保育者の養成が目的です。担当の講義などが大きく変わりましたので、本や学会誌を読んだり学生や教員の皆さんに聞いたりしながら日々勉強をしています。幼児教育学科の学生や教員のことについて多少は知っていたつもりですが、実際に在籍してみると看護学科とはびっくりするほど様々なことが違っていいことに気づきました。性格や考え方も、ものごとの進め方や解決の仕方、嗜好や興味の対象もこんなに違うのかと驚いています。同時に、大きく違う文化を持った学科が同じ所にあるのだから、これらが交わればもつと面白い大学になるのではと感じています。研究室の場所は変わっていません。同窓の方も越しく、どうぞよろしくお願ひします。



講師 岡本直行

皆さん、はじめまして。四月から幼児教育学科で「造形表現」等の講

義を担当しております。岡本直行と申します。三月まで、愛媛県の短期大学で保育者を目指す学生たちに囲まれた毎日を送っていました。私は、この世で一番美しいのは自然であり、その中でも均整の取れた美を持つのが人体だと考え、自然から生成された土を使って制作活動をしてきました。自分の気持ちや想いを「かたち」に表すことは簡単ではありませんが、心から楽しんで表現された作品には何かを伝える力が秘められていると考えています。感じるままに素材を使って「かたち」にしていく子どもの作品は、この力の塊といえるものであり、そのよさを感じ取る心を保育に携わる私たちは忘れてはいけません。創ることが表現であるなら、感じることもまた表現。そのことを念頭に置きながら、学生の皆さんとともに、色や素材で遊び、感じ、創ることの楽しさ、表現の面白さを日々追い求めていきたいと考えています。どうぞよろしくお願ひいたします。



絵・前田あゆみ

同窓生の コーナー

働くということ

幼児教育学科第二十四期生
美哉幼稚園勤務 崎津春佳

私は、働き始めて二年目になります。働き出した当初、「自分には保育者はむいていない」と、毎日のように悩んでいました。

そう思った一番の理由は、子どもたちへの接し方の難しさでした。褒めたとき、怒ったとき、遊びのなかでの言葉かけ一つ一つに対する子どもへの反応が自分の予想とは大きく異なるからです。

でも、悩んでいる自分に元気をくれたのは、やはり子どもたちの笑顔でした。「私はきつとこの笑顔を見るために、保育者になったんだ」と感じることで、それが自信へと繋がりました。

学校で学んだことは、今自分が保育者の仕事をしていくうえで財産となつていきます。この財産をもっと輝かせられるように、これからも頑張っていきたいと思います。

地域福祉学科第八期生

古川政史



現在、滋賀県の介護老人福祉施設で働いています。思いがけず「まんさく」の原稿を依頼されました。先輩や同窓や在学の皆さま

んに仕事の何かを伝えようと考えましたが、まだ経験二年の若輩です。

ひとつ、今の私が確かに感じていること。それは、「新見公立短期大学地域福祉学科」卒業生であることの誇りです。地域福祉学科は、「介護は文化」と明確に謳っています。我々が生きていること、それ自体が文化です。我々とは、

私、あなた、周りの環境すべてです。地域福祉学科は介護を窓口として真実としての文化を伝えてくれました。その真実を捉える切り口が、心理学、民俗学、環境音楽論など文化に関わる講義でありました。さらに生の文化に触れて感じる機会もしっかり与えてくれました。今は、短大時代にカラダに染みついたモノが、少しずつ染み出ているといった感じでしょうか。私は誇りを持って「新見流」で生きていきます。

♡結婚おめでとう♡おめでとうございます♡
看護学科第二十一期生
西村竜太・愛(旧姓榮泉寺)



この度、新短看護学科生同士初めての結婚ということで「まんさく」へ

載せていただくこととなりました。新見公立短期大学に入学し、付き合いはじめて四年半あつという間に過ぎたように思います。そんな私たちも今年一月に入籍し、六月四日に式を挙げることができました。結婚式や二次会には遠方よりたくさんのお客さんが駆けつけてくださり、先生方・友人からの嬉しい言葉やビデオレターまでいただき本当にありがとうございます。泣きすぎて目がパンパンです。新短サイコー！

現在も看護師として働き、お互い同じ職だからこそ分り合える部分もあり、励ましあつて頑張っています。もし長野に來られ、どこかで見かけたら気軽に声をかけて下さい。今後の皆様のご活躍と新見公立短期大学のご発展をお祈りしています。

◎地域看護学専攻科

第一期生同窓会開催

岩田奈緒美・木原麻悠



私たち専攻科第一期生は、三月二十五日に岡山で同窓会をしました。忙しい中、先生方と九人が集まることができ、近況報告をしながら楽しいひとときを過ごしました。皆それぞれ、保健師や看護師として大変ながらも充実した日々を送っていました。皆に会って、励まされ頑張ろうという気持ちになりました。次にまた成長した皆に会えるのを楽しみにしています。

◎看護学科第十九期生

同窓会開催

石本陽子



平成十八年五月二十七日、新見公立短期大学の学生会館にて、看護学科十九期生のはじめの同窓会を行いました。出席者は卒業生二十二名と先生三名でした。五年ぶりの再会でしたが、どの顔も五年前と変わっておらず、懐かしさでいっぱいになりました。次回を今から楽しみにしています。

在籍者数

2006.5.31 現在

	看護学科	幼児教育学科	地域福祉学科	地域看護学専攻科	計
1年次生	64	50	55	17	186
2年次生	61	55	53	-	169
3年次生	66	-	-	-	66
計	191	105	108	17	421

出身都道府県別在学生数

2006.5.31 現在

府県	看護学科			幼児教育学科		地域福祉学科		地域看護学専攻科	合計
	1年	2年	3年	1年	2年	1年	2年		
北海道					1				1
茨城県								1	1
神奈川県	1								1
新潟県	1								1
石川県							1		1
福井県					4				4
長野県						1			1
岐阜県				1					1
静岡県			1					1	2
愛知県	1								1
滋賀県		1	1					1	3
京都府	2		1		1	1	1		6
大阪府		1	2			1	1		5
兵庫県	27	14	18	7	10	7	3	1	87
奈良県					1				1
和歌山県			2	2	1	1		1	7
鳥取県	1	3	1		4	3	5	3	20
島根県	7	5	6	6	10	3	13		50
岡山県	4	4	10	5	7	19	12	1	62
うち新見市		①	②	①	⑤	②	⑤		⑩
広島県	3	5	7	3	2	3	2	2	27
山口県	2	5	2	3	2	5	3	1	23
徳島県			2	4			1	2	9
香川県	2	2	3	3	2		2	1	15
愛媛県	5	4	3	9	5	3	4		33
高知県	1	3				2	1		7
福岡県		1	4				1	1	7
佐賀県					1				1
長崎県	4	1	1		1	1	2		10
熊本県		1							1
大分県		4	1	1		2			8
宮崎県	1	2	1	2	1	1			8
鹿児島県	1	3		3	2	2	1		12
沖縄県	1	2		1					4
合計	64	61	66	50	55	55	53	17	421

いんてんせつ

〈退職〉

教養科教授
看護学科助教授
幼児教育学科助教授
幼児教育学科講師
総務課長
学務課主幹
学務課主幹



絵・田中真祐子

桑原 一良
塚本千恵子

山中 文
金山 和彦
真壁 孝文
林 晴正
埜 俊二

しんぷようこく

〈新採用〉

幼児教育学科講師
地域福祉学科講師
看護学科助手
教養科助手
総務課長
学務課長
総務課課長補佐
学務課係長

斎藤 健司
土井 英子
鹿島 隆
竹本 和民
村田 二郎
村上 直
渡部 昌史
掛屋 純子
藤井 宏明
岡本 直行

〈昇格〉
看護学科講師
幼児教育学科講師

齋藤 健司

お知らせ

平成十八年三月末で任期満了となった
本学難波正義学長が、学長選挙の結果再
任され、四月より二期目の任期に入られ
ました。また、平成十八年五月十四日に
本学石田純郎教授が、平成十八年度中津
市長賞を受賞されました。



絵・長島麻衣

編集委員

委員長
委員

原 逸見 山内 矢庭 岡本 松永
信 英 枝 圭 行 美 直 さ ゆ り
二 美 輝 郎 郎 郎 郎 郎 郎

一 ページに記事を書きましたと
おり、本学はすべての大学・短大に
義務付けられている機関別認証評
価を受け、公立短大では第一号とし
て合格することができました。こ
れは、卒業生、在学生、開学以来の
教職員や地域のかたがたのご支援
によるものです。

この春、長年にわたり短大を共に
育ててくださった桑原一良先生と
塚本千恵子先生が退職になりました。
先生は十七年間にわたり、本学の教
育にご尽力くださいました。本当
にご苦労様でした。先生方の教育
に対する熱い思いを受け継ぎ、今後
もより素晴らしい人材を育成して
ゆきたいと教職員一同心を引き締
めています。
(松永)

編 集 後 記